

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-143932

(43)Date of publication of application : 28.05.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 09-304477

(71)Applicant : YUYAMA SEISAKUSHO:KK

(22)Date of filing : 06.11.1997

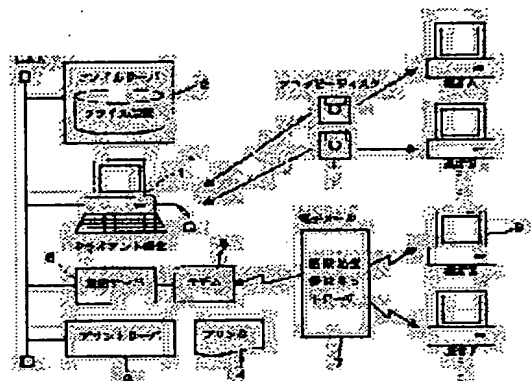
(72)Inventor : YUYAMA HIROYUKI
GOTOU YOSHITO

(54) ESTIMATE PURCHASE DECISION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To issue the estimate sheets and to perform the comparison of estimate prices in a simple and effective way and to automatically purchase the commodities of low prices.

SOLUTION: The data input/output means 5 and 6 output the estimate request data to every trader and input the estimate price data from every trader. A storage means 2 stores the estimate request data and the estimate price data which are inputted and outputted via the means 5 and 6. A control means 1 decides a trader who has the lowest estimate price as the purchasing trader based on the estimate price data stored in the means 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

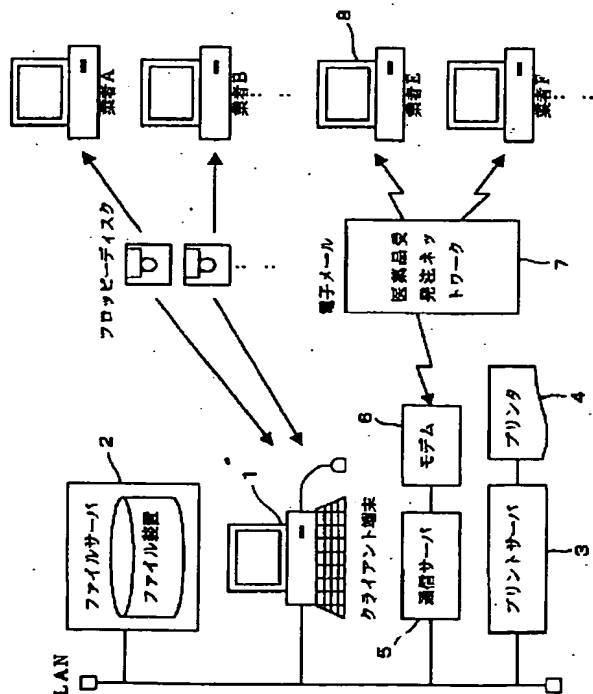
Copyright (C), 1998,2000 Japanese Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成11年(1999)5月28日

T



【特許請求の範囲】

【請求項1】 業者毎に見積依頼データを出力し、各業者からの見積価データを入力するデータ入出力手段と、該データ入出力手段を介して入出力される見積依頼データ及び見積価データを記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶された見積価データに基づいて最も安価な見積を行った業者を購入業者に決定する制御手段とを備えたことを特徴とする見積購入決定システム。

【請求項2】 前記制御手段は、最も安価な見積を行った業者を購入業者に決定した後、決定内容に基づいて購入変更トランザクションファイルを形成し、該購入変更トランザクションファイルに基づいてマスタファイルを更新することを特徴とする請求項1に記載の見積購入決定システム。

【請求項3】 最も安価な見積を行った業者が複数ある場合、少なくとも該当する業者名を表示する表示手段と、該表示手段での表示内容に基づいていずれかの業者を選択可能とする選択手段とを設けたことを特徴とする請求項2に記載の見積購入決定システム。

【請求項4】 前記見積依頼データを過去に於ける実際の使用量に基づいて作成したことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載の見積購入決定システム。

【請求項5】 前記見積依頼データ及び見積価データを同一の見積ファイルに格納し、各データのレコードは、コード変更なしに利用可能な商品コード、商品名称及び見積価を備えることを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載の見積購入決定システム。

【請求項6】 前記データ入出力手段によるデータの出力は電子メールで行うことを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1項に記載の見積購入決定システム。

【請求項7】 前記制御手段は、購入価の変更差額一覧表を作成し、印刷手段により印刷可能とすることを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1項に記載の見積購入決定システム。

【請求項8】 前記制御手段は、予定差額順に業者を整理して予定差額購入業者順位表を作成し、印刷手段により印刷可能とすることを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1項に記載の見積購入決定システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、見積購入決定システム、特に、複数の業者のうち、見積価の最も安い業者を自動的に選択して購入することのできる見積購入決定システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、病院や調剤薬局等の医療機関での医薬品の購入には、効率化を目的としてコンピュータを使用するようになってきている。

【0003】例えば、医薬品在庫管理システム（特開平4-248668号公報参照）では、薬局等から医薬品の請求があれば、そのデータを一覧表にし、画面对話形式で発注処理、納品処理、出庫処理を行うことにより、入力作業の簡略化、必要な処理時間の短縮等を可能としている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前述のようなシステムは、医療機関内での発注等の効率化を目的とするだけであり、購入先（業者）を決定するための機能は備えていない。

【0005】業者の選択は、医療機関側から業者に見積依頼を行い、回答のあった見積価を比較することにより行っている。この作業は人手によるため、医療機関の規模が大きくなればなる程、事務処理件数が増大するという問題がある。このため、依頼先が特定業者に固定され、変更されることは殆どない。一方、医薬品は常に値下がり傾向にあり、低価品の購入機会を逸することは経営面でも好ましくない。

【0006】そこで、本発明は、見積書の発行及び見積価の比較を簡単かつ効率的に行い、低価品の購入を自動的に行うことのできる見積購入決定システムを提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記課題を解決するための手段として、業者毎に見積依頼データを出力し、各業者からの見積価データを入力するデータ入出力手段と、該データ入出力手段を介して入出力される見積依頼データ及び見積価データを記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶された見積価データに基づいて最も安価な見積を行った業者を購入業者に決定する制御手段とを備えたものである。

【0008】前記制御手段は、最も安価な見積を行った業者を購入業者に決定した後、決定内容に基づいて購入変更トランザクションファイルを形成し、該購入変更トランザクションファイルに基づいてマスタファイルを更新するのが好ましい。

【0009】最も安価な見積を行った業者が複数ある場合、少なくとも該当する業者名を表示する表示手段と、該表示手段での表示内容に基づいていずれかの業者を選択可能とする選択手段とを設けるのが好ましい。

【0010】前記見積依頼データを過去に於ける実際の使用量に基づいて作成するのが好ましい。

【0011】前記見積依頼データ及び見積価データを同一の見積ファイルに格納し、各データのレコードは、コード変更なしに利用可能な商品コード、商品名称及び見積価を備えるのが好ましい。

【0012】前記データ入出力手段によるデータの出力は電子メールで行うのが好ましい。

【0013】前記制御手段は、購入価の変更差額一覧表

を作成し、印刷手段により印刷可能とするのが好ましい。

【0014】前記制御手段は、予定差額順に業者を整理して予定差額購入業者順位表を作成し、印刷手段により印刷可能とするのが好ましい。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を添付図面に従って説明する。

【0016】図1は、本発明に係る見積購入決定システムを医療機関に適用した場合の概略図である。医療機関側の端末1には、ファイルサーバ2が接続されると共に、プリントサーバ3を介してプリンタ4が接続されている。また、前記端末1は、通信サーバ5及びモデム6を介して医薬品受発注ネットワーク7に接続され、各業者側の端末8と通信可能となっている。

【0017】前記ファイルサーバ2には、図2に示すように、医薬品マスタファイル9、見積ファイル10、未決定見積ファイル11、購入変更トランザクションファイル12、使用数ファイル13、業者マスタファイル14、メーカーマスタファイル15等が格納されている。

【0018】医薬品マスタファイル9には、図3に示すように、薬品コード、薬品名、メーカーコード、薬効コード、包装規格数、消費単位、包装単位、薬価、JANコード、購入業者コード、購入価、購入更新日が含まれる。

【0019】薬品コードは各薬品毎に付されたコード番号である。薬品名は薬品の名称である。メーカーコードは製造元毎に付されたコード番号である。薬効コードは異なる効能及び効果毎に付したコード番号である。包装規格数は、薬品を購入する際の最小単位に於ける数量を示す。例えば、箱単位で購入する場合、1箱当たり3000錠であれば、包装規格数は3000錠となる。消費単位は、薬品を処方する際の基本単位を示す。例えば、錠剤であれば、1錠、2錠…と数えるので、T(タブレット)を使用している。包装単位は、薬品を購入する際の搬入形態を示す(本実施形態では箱単位)。薬価は、前記包装単位で購入した場合の定価を示す。JANコードは、49が日本、87が医薬品を示し、その次の3桁がメーカーコード、最後の4桁が各メーカーで付したコードを示す。業者コードは、実際に薬品を購入する先の業者に対応して付したコード番号を示す。購入価は、前記薬価に対して実際に購入する際の価を示す。購入更新日は、前回薬品を購入した日付を示す。

【0020】見積ファイル10及び未決定見積ファイル11は、図4及び図5に示すように、薬品コード、薬品名、メーカーコード、メーカー名、包装規格数、消費単位、包装単位、薬価、予定購入数、JANコード、業者コード、業者名からなる見積依頼データと、見積価からなる見積価データとで構成される。見積ファイル10は、見積依頼する際に必要なデータを書き込むためのファイ

ルで、後述する薬品選択画面(図12)でチェックした薬品のレコードが書き込まれる。この見積ファイル10では、見積段階であるため、見積価は空欄となっている。一方、未決定見積ファイル11は、最低見積価の業者が複数ある場合に見積の回答に関するレコードを書き込むためのファイルで、後述するように、購入業者選択画面(図17)に対応している。

【0021】薬品コード、薬品名、メーカーコード、メーカー名、包装規格数、消費単位、包装単位、薬価、JANコード、業者コードについては、前記医薬品マスタファイル9と同様である。予定購入数は、次回購入する予定の薬品の数量を包装規格数で示す。業者名は、購入先の業者の名称を示す。見積価は、購入業者から回答のあった予定購入数に応じた見積価を示す。

【0022】購入変更トランザクションファイル12は、最低見積価の業者が単一の場合に医薬品マスタファイル9のレコードを書き換えるためのファイルで、図6に示すように、薬品コード、薬品名、メーカーコード、メーカー名、旧購入業者コード、旧購入業者名、旧購入価、新購入業者コード、新購入業者名、新購入価、差額、予定購入数、予定差額で構成される。

【0023】前記薬品コード、薬品名、メーカーコード、メーカー名については、前記医薬品マスタファイル9と同様である。旧購入業者コードは、今回の購入で購入先を変更した場合、前回の購入業者のコード番号を示す。旧購入業者名は、前回薬品を購入した業者の名称を示す。旧購入価は、前回の購入業者から購入した際の価を示す。新購入業者コードは、今回薬品を購入した業者のコード番号を示す。新購入業者名は、今回薬品を購入した業者の名称を示す。新購入価は、今回購入予定の薬品の価を示す。差額は、新購入価から旧購入価を減算した値である。予定購入数は、今回購入する薬品の数量を包装単位で表したものである。予定差額は、前述の差額及び予定購入数を乗算した値である。

【0024】使用数ファイル13は、図7に示すように、薬品コードと、各月別の薬品の使用数とが含まれる。

【0025】なお、業者マスタファイル14は、薬剤を購入する先の業者についてのデータ、メーカーマスタファイル15は、それぞれ薬剤の製造元についてのデータから構成されている。

【0026】本発明に係る制御手段である医療機関側の端末1は、図2に示すように、見積依頼作成手段16、低価式購入決定手段17、指定式購入決定手段18、医薬品マスタ更新手段19及び印刷データ作成手段20を備える。

【0027】見積依頼作成手段16は、医薬品マスタファイル9、使用数ファイル13、業者マスタファイル14及びメーカーマスタファイル15等から必要なデータを取得して見積依頼データを作成し、見積ファイル10に

書き込む。見積ファイル10に書き込まれたデータは、後述するように、フロッピーディスク又は電子メールにて購入業者に送付又は送信する。

【0028】低価式購入決定手段17は、購入業者で新たに見積ファイル10に書き込まれた見積価データを読み込み、この見積価データを薬品毎にソートする。そして、最低見積価の購入業者を選択し、購入変更トランザクションファイル12にレコードを書き込む。但し、最低価を見積もった購入業者が複数ある場合、購入変更トランザクションファイル12ではなく、未決定見積ファイル11にレコードを書き込む。

【0029】指定式購入決定手段18は、未決定見積ファイル11に書き込まれたレコードを読み込み、このデータを画面に表示させる。そして、オペレータによる購入業者の選択操作があれば、購入変更トランザクションファイル12にレコードを書き込む。

【0030】医薬品マスタ更新手段19は、購入変更トランザクションファイル12のレコードを読み出し、医薬品マスタファイル9を更新する。

【0031】印刷データ作成手段20は、購入変更トランザクションファイル12のレコードを読み出し、購入価変更差額一覧表(図19参照)及び予定差額購入業者順位表(図20参照)とを印刷するためのデータを作成し、プリンタ4に出力する。

【0032】次に、前記端末1による見積依頼作成処理及び購入決定処理を、図8ないし図10のフローチャートに従って説明する。

【0033】見積依頼作成処理では、まず、図11に示すように、画面に表示される業者選択フォームに従って見積を依頼する業者を選択する(ステップS1)。業者選択フォームは、選択欄、業者コード欄、業者名欄、FD/電子メール欄から構成されている。

【0034】選択欄は、見積依頼する業者であるか否かを示すためのもので、依頼する場合にはチェック印「V」が付されている。通常、見積依頼は全業者に対して行うため、初期状態では全選択欄にチェック印「V」が付されている。

【0035】また、FD/電子メール欄は、「1」が表示されている場合にはフロッピーディスクで、「2」が表示されている場合には電子メールでそれぞれ見積依頼する業者であることを示す。例えば、早急に見積依頼を行いたい場合には、フロッピーによる依頼では時間がかかるため、該当する業者に対して選択欄をマウスでクリックすることにより、チェック印「V」を外しておく。

【0036】続いて、前記図11の画面上の「次へ>」をマウスでクリックすることにより、図12に示すように、薬品選択フォームが表示された画面に切り替え、見積を依頼する薬品を選択する(ステップS2)。薬品選択フォームは、抽出条件欄と、抽出条件によって選択された薬品データ欄とから構成されている。

【0037】抽出条件欄では、薬価(降順、全薬品)、メーカー、薬効のいずれかを選択可能となっており、通常、薬価(降順、全薬品)が選択されるようになってい。薬品データ欄は、選択欄、薬品コード欄、薬品名欄、包装規格欄、薬価欄、購入価欄、過去3ヶ月使用数欄、予定購入数欄から構成されている。

【0038】メーカーコードを直接入力して抽出条件を設定する場合、例えば、図13に示すように、抽出条件欄のメーカーをクリックし、メーカーコード欄に「028」を入力すると、薬品データ欄に、該当するメーカーで製造された各薬品についての薬品データが表示される。また、薬効コードを直接入力して抽出条件を設定する場合、例えば、図14に示すように、抽出条件欄の薬効をクリックし、薬効コード欄に「2149」を入力すると、薬品データ欄に、該当する薬効のある薬品についての薬品データが表示される。

【0039】次に、前記抽出条件に従って選択された薬品毎に、順次見積依頼データを作成し、前記図4に示すように、見積ファイル10にレコードを追加する(ステップS4)。

【0040】こうして、全薬品について見積依頼データが完成すれば(ステップS3)、次に、前記図12(図13、図14)の画面上の「次へ>」をマウスでクリックすることにより、図15に示すように、見積依頼データの出力フォームが表示された画面に切り替え、各業者に対する見積依頼を開始する(ステップS5~S8)。前記出力フォームは、前記図11の画面で選択した業者の一覧表である。

【0041】そこで、「見積ファイルの出力スタート」をマウスでクリックすると、上方に位置する業者から順に見積依頼が開始される。見積依頼が開始され、該当する業者の出力中欄に★印が表示されることにより、処理中であることが知らされる。図15では、業者Aについてフロッピーディスクによる見積依頼が処理中であることが示されている。

【0042】見積依頼をフロッピーディスクで行う場合、画面上にフロッピーディスクを抜き差しする案内メッセージが表示される(図示せず)。メッセージに従って操作を進めることにより、フロッピーディスクに図4に示す見積依頼データが書き込まれる(ステップS7)。また、見積依頼を電子メールで行う場合、自動的に該当する業者に送信される(ステップS8)。

【0043】なお、見積依頼データを印刷する場合、図15の「見積依頼データの印刷」をマウスでクリックすればよい。

【0044】購入決定処理は、図16に示す見積価データ入力の画面で、「見積ファイルの入力スタート」をマウスでクリックすることにより開始される。

【0045】この購入決定処理では、まず、見積依頼作成で選択した業者からの見積価データが全て揃っている

7
 か否かを判断する（ステップS11）。

【0046】見積価データが全て揃っていない場合、すなわち、見積価データの入力処理中である場合、業者からの見積価データがフロッピーディスクによるものか否かを判断する（ステップS12）。フロッピーディスクによるものである場合、画面のFD/電子メール欄には「1」が表示され、フロッピーディスク以外、すなわち電子メールによるものである場合、「2」が表示される。

【0047】見積価データがフロッピーディスクによるものである場合、フロッピーディスクから見積価データを読み込み（ステップS13）、電子メールによるものである場合、モデムを介して受信あるいは既に受信した見積価データを読み込む（ステップS14）。フロッピーディスクから読み込む場合、画面にはフロッピーディスクの「挿入」、「取出」等が表示され、オペレータはその画面の表示に従ってデータの入力処理を行うことができる。

【0048】以上の見積価データの入力処理は、画面に表示された見積依頼作成で選択した業者の一覧のうち、上方に表示された業者から順に行われる。この場合、入力処理中の業者については、入力中欄に★印が表示される。図16では、業者Fについて電子メールで見積データを読込中であることが示されている。

【0049】見積価データが全て揃えば、全見積価データを価の低いものから順にソートする（ステップS15）。そして、全薬品について次の処理が終了したか否かを判断する（ステップS16）。

【0050】すなわち、最低見積価の業者が1つであるか否かを判断する（ステップS17）。1つの業者のみが最低見積価を設定している場合、購入変更トランザクションファイル12に該当する業者に関するレコードを追加する（ステップS18）。

【0051】一方、複数の業者が最低見積価を設定している場合、未決定見積ファイル11に該当する全ての業者に関するレコードを追加する（ステップS19）。

【0052】全薬品について処理が終了すれば、未決定見積ファイル11の全レコードを画面表示し、購入業者の指定を行う（ステップS20）。購入業者の指定は、図17に示す画面上でオペレータが所望の業者の選択欄をクリックすることにより行われる。これにより、最低見積価を設定した業者に納期遅れ等の問題がある場合には変更可能である。

【0053】そして、特定の購入業者が指定されれば、指定された購入業者について購入変更トランザクションファイル12にレコードを追加する（ステップS21）。

【0054】その後、図17に示す画面中、「次へ」をクリックすることにより、図18に示す医薬品マスタの更新画面を表示させる。そして、「購入価変更差額一覧

表の印刷」又は「予定差額購入業者順位表の印刷」をクリックすることにより、購入価の変更差額の一覧表又は予定差額購入業者の順位表の記録帳票の印刷を行う（ステップS22）。また、図18中、「医薬品マスタの更新スタート」をクリックすることにより、購入変更トランザクションファイル12の全レコードで医薬品マスタファイル9の更新を行う（ステップS23）。

【0055】なお、前記実施形態では、医薬品の購入見積決定システムについて説明したが、医薬品に限らず、他の医療品、例えば、手術に用いるペースメーカー、輸血用フィルター、人工関節、人工心肺、心臓手術用カテーテル等の購入見積決定システムとして利用しても構わない。また、医療品に限らず、文房具等の種々の購入品のための購入見積決定システムとして利用してもよい。

【0056】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明に係る見積購入決定システムによれば、制御手段により、記憶手段に記憶した見積価データに基づいて最も安価な見積を行った業者を購入業者に決定できるようにしたので、業者の選定が容易となり、確実にコストを抑えることが可能となる。

【0057】また、購入業者の変更に伴うマスタファイルの書き換えを、購入変更トランザクションファイル12を介して行うようにしたので、誤った情報が追加されにくくなり、安心して使用することができる。

【0058】また、最も安価な見積を行った業者が複数ある場合、表示手段にてその内容を表示すると共に、選択手段によって選択できるようにしたので、発注側の選択基準を考慮することができる。

【0059】また、見積依頼データを過去に於ける実際の使用量に基づいて作成するようにしたので、発注量にミスが発生しにくくなる。

【0060】また、見積依頼データ及び見積価データを同一の見積ファイル10に格納し、各データのレコードは、コード変更なしに利用可能な商品コード、商品名称及び見積価を備えるようにしたので、ファイルへのデータの書き込みが容易となる。

【0061】また、データの入出力は電子メールで行うようにしたので、迅速に処理を進めることができる。

【0062】また、購入価の変更差額一覧表を作成し、印刷手段により印刷可能としたので、薬品毎の購入額の増減と、メーカーと購入業者の力関係等が一目で判断可能となる。

【0063】また、予定差額順に業者を整理して予定差額購入業者順位表を作成し、印刷手段により印刷可能としたので、購入業者との金額交渉の結果が一目瞭然となり、今後の折衝において購入業者を選択する際の判断が容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施形態に係る医薬品見積購入システムの

ハードウェアの機器構成例を示す概略図である。

【図2】 図1の端末及びファイルサーバの構成例を示すブロック図である。

【図3】 図2の医薬品マスタファイルの一例を示す図表である。

【図4】 図2の見積ファイルの一例を示す図表である。

【図5】 図2の未決定見積ファイルの一例を示す図表である。

【図6】 図2の購入変更トランザクションファイルの一例を示す図表である。

【図7】 図2の使用数ファイルの一例を示す図表である。

【図8】 見積依頼作成処理を示すフローチャートである。

【図9】 購入決定処理を示すフローチャートである。

【図10】 購入決定処理を示すフローチャートである。

【図11】 業者を選択する際の画面表示である。

【図12】 薬品を選択する際の抽出条件が薬価である

場合の画面表示である。

【図13】 薬品を選択する際の抽出条件がメーカーである場合の画面表示である。

【図14】 薬品を選択する際の抽出条件が薬効である場合の画面表示である。

【図15】 見積依頼データを出力する際の画面表示である。

【図16】 見積価データを入力する際の画面表示である。

【図17】 購入業者を選択する際の画面表示である。

【図18】 医薬品マスタを更新する際の画面表示である。

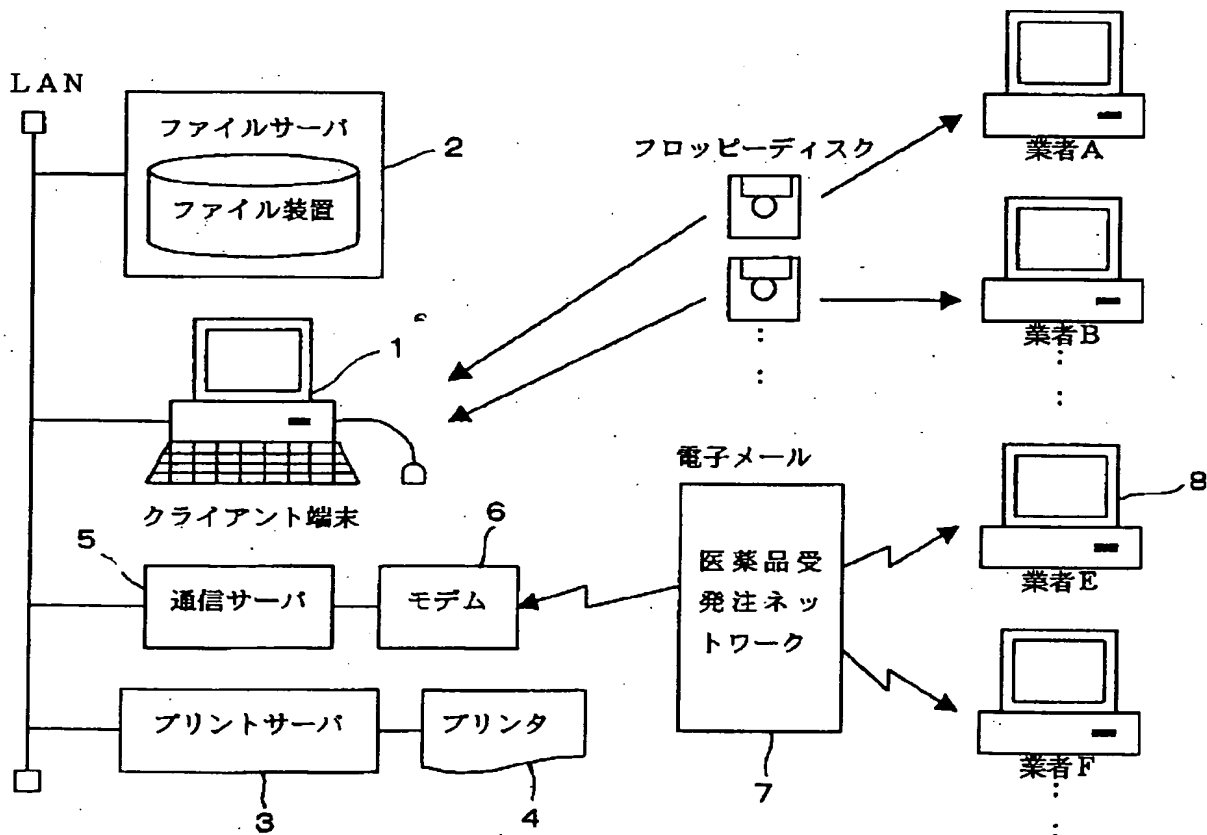
【図19】 購入価変更差額一覧表である。

【図20】 予定差額購入業者順位表である。

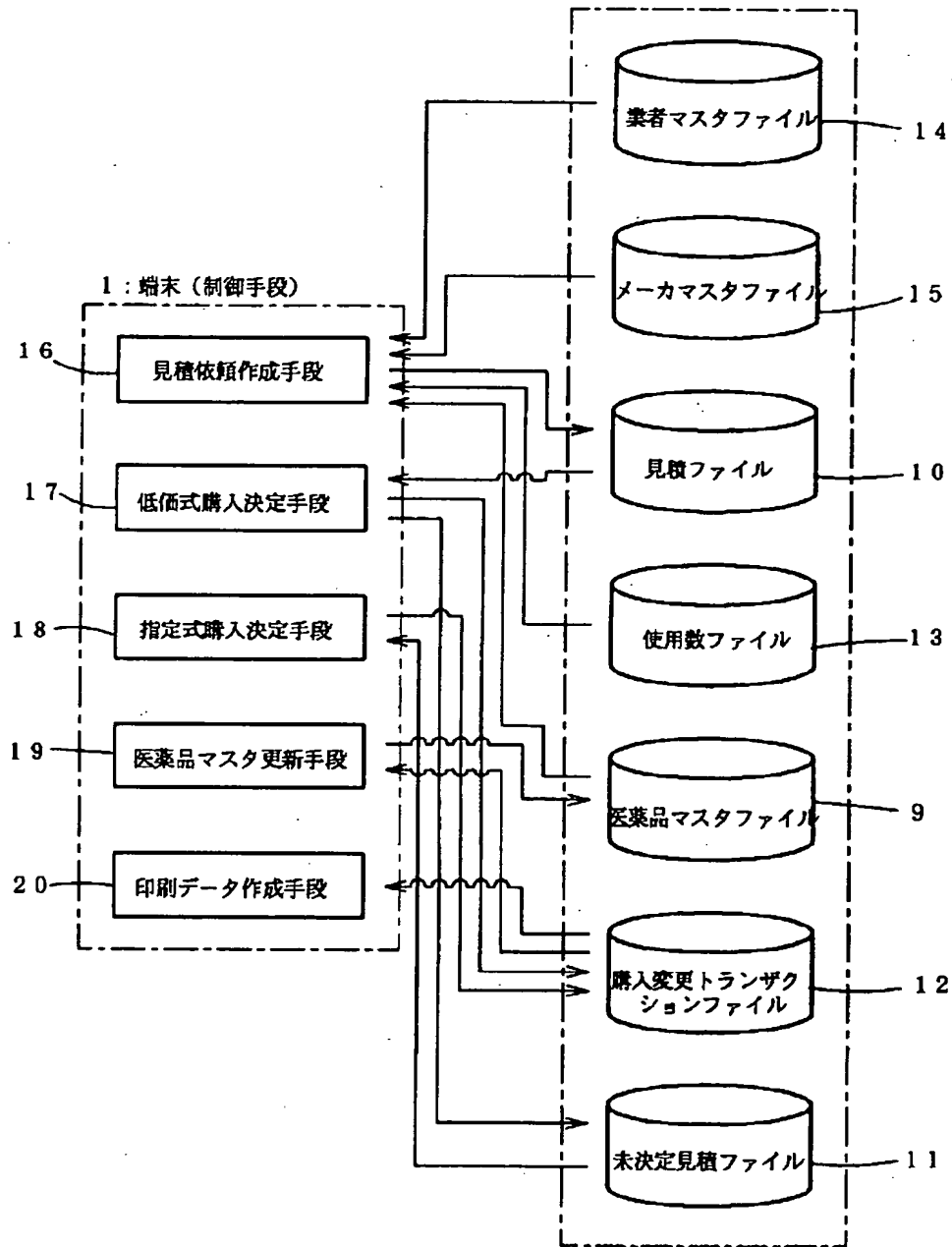
【符号の説明】

- 1 端末（制御手段）
- 2 ファイルサーバ（記憶手段）
- 5 通信サーバ
- 6 モデム

【図1】



2: ファイルサーバ



【图 7】

＜使用数ファイル＞													
事業年度	使用数												～
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	

【図3】

<医薬品マスタファイル>

薬品コード	薬品名	メーカーコード	薬効コード	包装規格数	消費単位
10001	薬品A錠	028	2251	3000	T
包装単位	薬価	JANコード	購入業者コード	購入価	購入更新日
箱	201600	4987028123456	01	153600	1997.03.01
薬品コード	薬品名	メーカーコード	薬効コード	包装規格数	消費単位
10002	薬品B錠	103	2149	5000	T
包装単位	薬価	JANコード	購入業者コード	購入価	購入更新日
箱	99800	4987108234567	02	79800	1997.03.01
薬品コード	薬品名	メーカーコード	薬効コード	包装規格数	消費単位
10003	薬品C錠	013	1179	1000	T
包装単位	薬価	JANコード	購入業者コード	購入価	購入更新日
箱	372900	4987018345678	05	297000	1997.03.01
薬品コード	薬品名	メーカーコード	薬効コード	包装規格数	消費単位
10004	薬品D錠	279	2149	2000	T
包装単位	薬価	JANコード	購入業者コード	購入価	購入更新日
箱	133200	4987279456789	01	110000	1997.03.01
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

【図16】

【購入決定】 <見積価データの入力>

1997. 05. 27

入力中 業者コード 業者名 FD/電子メール (= 1/2)

01	業者A	1
02	業者B	1
05	業者E	2
★ 06	業者F	2

見積ファイルの
入力スタート

見積価データの
印刷

次へ >

キャンセル

【図4】

<見積ファイル>

薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10003	薬品C錠	013	C製薬	1000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
372900	1	4987013345678	05	業者E		
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10001	薬品A錠	028	A製薬	8000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
201600	1	4987028123456	01	業者A		
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10002	薬品B錠	103	B製薬	5000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
99800	2	4987103234567	02	業者B		
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:

【図5】

<未決定見積ファイル>

薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10001	薬品A錠	028	A製薬	3000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
201600	1	4987028123456	01	業者A	151000	
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10001	薬品A錠	028	A製薬	3000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
201600	1	4987028123456	02	業者B	151000	
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10002	薬品B錠	103	B製薬	5000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
99800	2	4987103234567	05	業者E	79000	
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	包装規格数	消費単位	包装単位
10002	薬品B錠	103	B製薬	5000	T	箱
薬価	予定購入数	JANコード	業者コード	業者名	見積価	
99800	2	4987103234567	06	業者F	79000	
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:

【図6】

<購入変更トランザクションファイル>

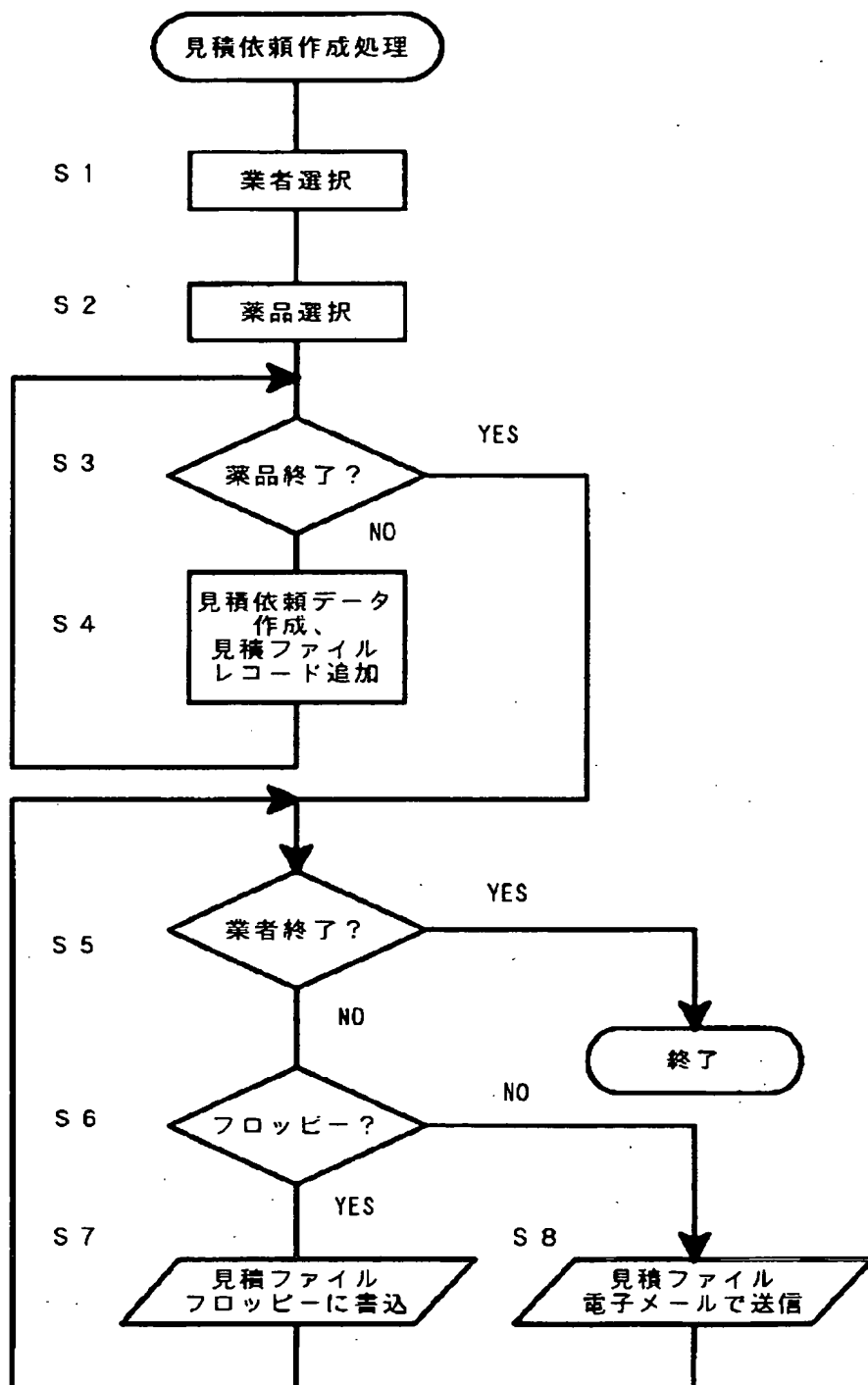
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	旧・購入業者コード	旧・購入業者名	旧・購入価
10001	薬品A錠	028	A製薬	01	業者A	153600
新・購入業者コード	新・購入業者名	新・購入価	差額	予定購入数	予定差額	
01	業者A	151000	-2600	1	-2600	
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	旧・購入業者コード	旧・購入業者名	旧・購入価
10002	薬品B錠	103	B製薬	02	業者B	79600
新・購入業者コード	新・購入業者名	新・購入価	差額	予定購入数	予定差額	
06	業者F	79000	-600	2	-1200	
薬品コード	薬品名	メーカーコード	メーカー名	旧・購入業者コード	旧・購入業者名	旧・購入価
10003	薬品C錠	018	C製薬	05	業者E	297000
新・購入業者コード	新・購入業者名	新・購入価	差額	予定購入数	予定差額	
02	業者B	295000	-2000	1	-2000	
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:

【図17】

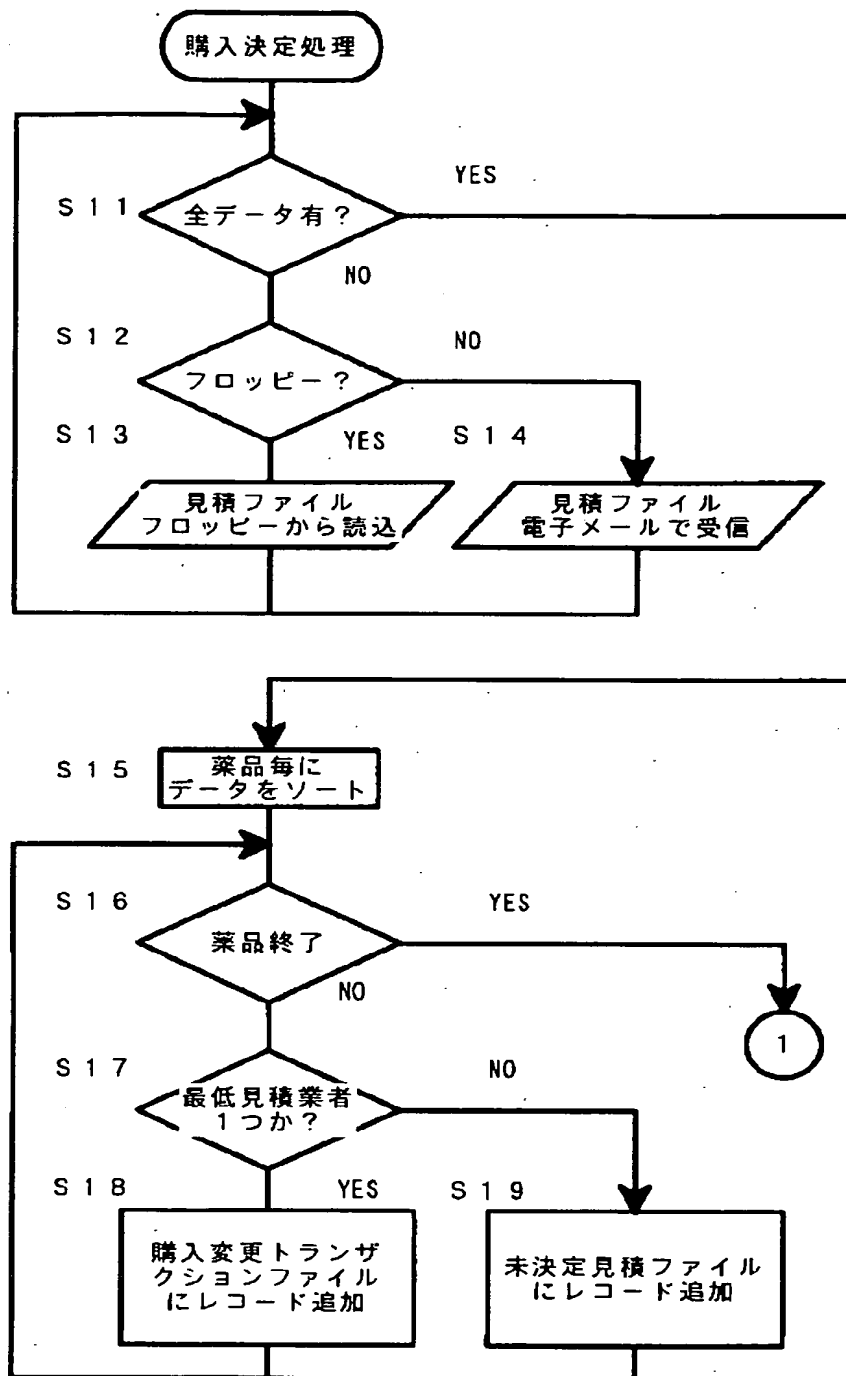
[購入決定]		<購入業者の選択>				1997. 05. 27	
薬品コード	薬品名	包装規格	薬価	見積価	選択	業者コード	業者名
10001	薬品A錠	3,000 T	201,600	151,000	◎	01	業者A
					○	02	業者B
10002	薬品B錠	5,000 T	99,800	79,000	○	05	業者E
					◎	06	業者F

< 戻る
次へ >
キャンセル

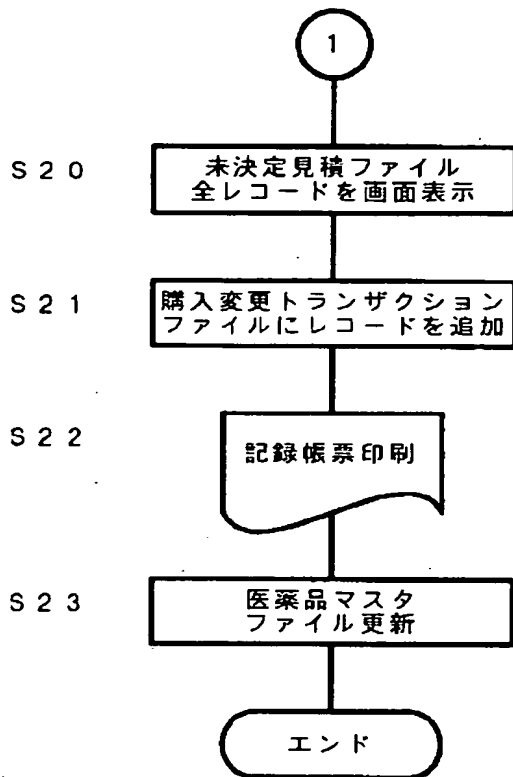
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

[見積依頼作成]		<業者の選択>		1997. 05. 20
選択	業者コード	業者名	FD/電子メール (= 1 / 2)	
<input checked="" type="checkbox"/>	01	業者A	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	02	業者B	1	
<input type="checkbox"/>	03	業者C	1	
<input type="checkbox"/>	04	業者D	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	05	業者E	2	
<input checked="" type="checkbox"/>	06	業者F	2	
<input type="checkbox"/>	07	業者G	2	

【図12】

【見積依頼作成】 <薬品の選択> 1997. 05. 20

抽出条件

☒ 薬価 (降順・全薬品)
☐ メーカー メーカーコード
☐ 薬効 薬効コード

選択	薬品コード	薬品名	包装規格	薬価	購入価	過去3ヶ月 使用数	予定購入数
<input checked="" type="checkbox"/>	10003	薬品C錠	1,000T	372,900	297,000	876T	1,000T 1箱
<input checked="" type="checkbox"/>	10001	薬品A錠	3,000T	201,600	153,600	4321T	8,000T 1箱
<input type="checkbox"/>	10004	薬品D錠	2,000T	133,200	110,000	123T	0T
<input checked="" type="checkbox"/>	10002	薬品B錠	5,000T	99,800	79,600	8642T	10,000T 2箱

【図14】

【見積依頼作成】 <薬品の選択> 1997. 05. 20

抽出条件

☐ 薬価 (降順・全薬品)
☐ メーカー メーカーコード
☒ 薬効 薬効コード 2149

選択	薬品コード	薬品名	包装規格	薬価	購入価	過去3ヶ月 使用数	予定購入数
<input checked="" type="checkbox"/>	10002	薬品B錠	5,000T	99,800	79,600	8642T	10,000T 2箱
<input checked="" type="checkbox"/>	10004	薬品D錠	2,000T	133,200	110,000	123T	0T

【図13】

【見積依頼作成】 <薬品の選択> 1997.05.20

抽出条件

○薬価（降順・全薬品）

◎メーカー メーカーコード 028

○薬効 薬効コード

選択	薬品コード	薬品名	包装規格	薬価	購入価	過去3ヶ月 使用数	予定購入数
<input checked="" type="checkbox"/>	10001	薬品A錠	3,000T	201,600	153,600	4821T	8,000T 1箱

< 戻る 次へ > キャンセル

【図15】

【見積依頼作成】 <見積依頼データの出力> 1997.05.20

出力中 業者コード 業者名 FD/電子メール (= 1/2)

★	01	業者A	1
	02	業者B	1
	05	業者E	2
	06	業者F	2

見積ファイルの
出力スタート

見積依頼データ
の印刷

< 戻る 完了 キャンセル

[購入決定]

<医薬品マスタの更新>

1997. 05. 27

帳票印刷

購入価変更差額一覧表の印刷

予定差額購入業者順位表の印刷

医薬品マスタの更新スタート

< 戻る

完了

キャンセル

*** 購入価変更差額一覧表 ***										印刷日 1997.05.27
薬品コード	薬品名	メーカー名	業者名		購入価		差額	予定	予定	
			旧	新	旧	新		購入数	差額	
10001	薬品A錠	A製薬	業者A	業者A	153,600	151,000	-2,600	1箱	-2,600	
10002	薬品B錠	B製薬	業者B	業者F	79,600	79,000	-600	2箱	-1,200	
10003	薬品C錠	C製薬	業者E	業者B	297,000	295,000	-2,000	1箱	-2,000	
								合計	-72,000	

【図20】

*** 予定差額購入業者順位表 ***						印刷日 1997. 05. 27
順位	業者コード	業者名	予定差額		予定購入額	
1	05	業者E	-23,000	32%	765,000	32%
2	06	業者F	-20,000	28%	654,000	27%
3	02	業者B	-16,000	22%	543,000	23%
4	01	業者A	-13,000	18%	432,000	18%
合計			-72,000	100%	2,394,000	100%

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.